

四日市市立水沢小学校

学校だより

令和6年5月20日 第10号

ふれあい



「朝の読み聞かせ」をしています。

昨年度、地域にお住まいの有志の皆様にお集まりいただき、子どもたちに読み聞かせをしていただく「読書活動支援員」（現在7名）を組織していただきました。現在本校は、水曜日の朝に10分間、読書の時間を設けており、月に一度、第2水曜日には、全学年で「読書活動支援員」の皆様による朝の読み聞かせを行っています。各学年、読み聞かせの時間になると、絵本や短編推奨本、紙芝居などを読んでもらっていて、投影機を使って絵本の内容を黒板に映してもらったり、子どもたちが読書活動支援員さんを囲むようにして集まったりと、朝読書の時間を楽しんでいます。

平成25年の文部科学省の調査によると、「小さい頃に読み聞かせをしてもらっていた家庭の子どもは、学力が高い傾向にある」という結果も出ているそうです。さまざまな文献を見ると、その中に、「絵本の読み聞かせを行うことで、子どもは「コミュニケーション能力が向上する」「語彙力が鍛えられる」「記憶力が向上する」「文章理解力が向上する」といった効果がある、といったことが書かれています。

本校では、学校づくりビジョンの中に「読書活動指導員や教員による読み聞かせの充実」という項目を入れ、読書活動の推進に力を入れています。「読書活動支援員」については、引き続き募集をしていますので、子どもたちに読み聞かせをしていただける方がお見えでしたら、一度、水沢小学校（TEL329-2334）までお電話いただけるとありがたいです。よろしくお願ひします。



左折ウインカーを出してください。

学校東側の道路は道幅が狭く、朝の時間帯（午前8時頃）は、子どもたちの登校に関する車で、大変混雑をしています。学校東側に本校の来客用、保護者用の駐車場がありますが、朝は子どもたちの登校の際に行き来をする車で、保護者の皆様がお互いに譲り合いをしながら、対応をしていただいています。おかげさまで、4月からこれまでは1件の事故もなく、大変ありがたく感謝をしています。

ところで、地域の方々とは毎朝登校指導をしていると、保護者の皆様の中には、北の方角から左折ウインカーを出し忘れて、本校の来客用、保護者用の駐車場へと向かう車を見かけます。ウインカーが出されているのかを確認して、車が直進されるのを予測し、駐車場から出て右折しようとしている車も見られ、いつかは交通事故につながらないかと、少しひやひやして見えています。

駐車場南西には横断歩道があり、登下校時には児童が横断をしています。交通事故を防ぐためにも、左折ウインカーの出し忘れがないよう細心の注意を払っていただくように、ご協力をお願いします。



学生ボランティアさんが来てくれています。

5月9日（木）～30日（金）の期間、毎週木曜日と金曜日、8時半～12時半の時間に地域に住む大学生が授業補助に入ってくれています。全体で8日間の予定ですので、低学年にそれぞれ2日間、その他の学年には、1日ずつ入っていただきます。水沢小学校の卒業生で、皆さん（子どもたち）の先輩にあたる方なので、在籍されていた頃の学校の様子など、気軽にさまざまな話ができたと思います。残り数日間ですが、いい出会いとなることを願っています。

保護者負担による学用品の購入について

四日市市内の各小中学校では、現在「保護者負担による学用品の購入」について見直しが行われています。入学時や該当学年時に学校指定物品（幹旋物品も含む）として購入している学用品について、指定にする必要があるのか自由購入でいいのか、検討を行うというものです。現在、子どもたちの使用している学用品の購入について、何か感じてみえることやご意見がありましたら、連絡帳等を通してご意見をいただければ幸いです。なお、本校の体操服につきましては、今年度より、購入指定物品から外させていただきました。



（文責 北住 昌文）